

## 大子町商工会 平成29年度経営発達支援計画実績評価

総合評価基準	A：大変効果があった	B：まあまあ効果があった
	C：あまり効果がなかった	D：まったく効果がなかった

<b>1. 地域の経済動向調査</b>	<b>総合評価 B</b>
---------------------	---------------

○事業内容

- 1) 中小企業景況調査並びに町内事業者ヒアリング調査の実施  
(四半期ごとに1回、30件を対象に巡回し調査する)
- 2) 各種調査情報の収集
- 3) 情報の整理・分析
- 4) 活用方法
  - ・経営革新及び新規事業展開などの事業計画策定時の資料として活用する
  - ・ホームページ上に掲載し常に閲覧できる状態にする

定量指標

支援内容	目標件数	実績件数
景況調査事業者数	30	31

○この取組みに対する効果検証

対象事業所31件を経営指導員含む3名の職員が巡回し聞き取り調査を実施することができた。経営状況を聞く中で経営革新計画の申請2件、金融支援面では3件のマル経資金融資の実行を行った。また事業計画策定支援に際しても有効なデータとして活用することができた。次年度以降も事業計画策定上、ベースとなる分析資料として全職員で対応していきたい。

<b>2. 経営状況の分析</b>	<b>総合評価 A</b>
-------------------	---------------

○事業内容

- 1) 巡回訪問を通して経営の相談業務により分析の対象となる小規模事業者をピックアップし、中小企業診断士と連携しながらSWOT分析やポジショニング分析等の経営分析を行う

定量指標

支援内容	目標件数	実績件数
巡回訪問件数	480	501
経営分析件数	6件	6件

○この取組みに対する効果検証

・定量目標は概ね達成することができた。また事業計画策定等、事業者の経営改善を支援するにあたり現状の把握、課題の抽出等重要な分析資料を専門家とともに取り組むことができ、6事業所のうち3事業所が経営革新計画を申請し承認を受けた。

<b>3. 事業計画策定支援</b>	<b>総合評価 B</b>
--------------------	---------------

○事業内容

- 1) 巡回・窓口指導時の事業計画策定支援
- 2) 小規模事業者に対する事業計画策定セミナー、創業・事業承継セミナー開催

定量指標

支援内容	目標件数	実績件数
事業計画策定事業者数	6	5
事業計画策定セミナー (創業・事業承継含む)	6	6件 (個別含む)

○この取組みに対する効果検証

事業計画策定を目指す小規模事業者の掘り起こしを行いセミナー開催、茨城県の補助事業を活用し専門家と連携しながら効果的な事業計画策定を行った。今後の目標が明確になり、大いに意識改革に繋がったとの感謝の声が多く、引き続き1件でも多くの策定支援を行っていく。

<b>4. 事業計画策定後の実施支援</b>	<b>総合評価 B</b>
------------------------	---------------

○事業内容

1) 事業計画策定を支援した企業に対し3ヶ月に1度訪問し、進捗状況を確認するとともに国、県、町、よろず支援拠点等の行う支援策等の広報、案内を周知しフォローアップを実施する

定量指標

支援内容	目標件数	実績件数
フォローアップ事業者数	6	6

○この取組みに対する効果検証

これまで事業計画策定した事業者に対しては、3ヶ月に1度の巡回指導により進捗状況の確認や的確な指導・助言を行うことができた。また地域資源を活用した創業者には、商工会が関与するイベントへの参加や情報などを提供することができた。

<b>5. 需要動向調査</b>	<b>総合評価 B</b>
------------------	---------------

○事業内容

1) 大子町を訪れる観光客（一般消費者含む）の需要動向を探るアンケート調査  
2) 収集した商品やサービスに関する情報を関係機関や支援事業者へ提供する

定量指標

支援内容	目標件数	実績件数
需要動向調査回数	4回	2回
調査人数	80人	100人

○この取組みに対する効果検証

観光客を中心に、地域資源を活用した商品に対するアンケート調査を100人実施した。地域資源の知名度や求められる商品の価格帯、特徴など率直な意見があり今後の商品の改善や新商品の開発に役立てる資料となった。しかしより多くの事業者へ情報を提供すると言った観点からは不十分であった。

6. 新たな需要開拓に寄与する事業	総合評価 B
-------------------	--------

○事業内容

- 1) 商談会や展示会への出展支援
- 2) 町内外イベントへの参加支援
- 3) EC サイトへの出店支援
- 4) おもてなしの心意識向上セミナー開催

定量指標

支援内容	目標件数	実績件数
展示会等出展支援者数	3	2
展示会・商談会引合事業者数	2	0
イベント回数	4	4
イベント出展企業数	5	6
〃内売上増加企業数	2	2
ニッポンネット登録企業数	2	—
〃内売上増加企業数	1	—
おもてなしセミナー	1	1

○この取組みに対する効果検証

展示会等への出展支援は、国内においてはなかったが、海外向けの商談会参加は2企業あり、引き合いに向け現在も支援中である。  
また地域外で開催されるイベントへの参加支援は、新規に出展した企業もあり新たな顧客の獲得と売上アップに効果があった。

7. 地域経済活性化の取組	総合評価 B
---------------	--------

○事業内容

- 1) 大子町地域振興協議会を4回開催し、地元産業の育成支援を視野に検討する
- 2) 地域イベントを開催し、特産品のPRと消費拡大を図る
- 3) 地域商品券を発行し、町内の消費拡大と町外の消費流失を防止する

定量指標

支援内容	目標件数	実績件数
会議開催回数	4回	1回
イベント開催回数	4回	4回
出店者数	10	8
プレミアム商品券発行	1	1
敬老商品券発行	1	1

○この取組みに対する効果検証

従来から開催されているイベントは、一通り実施しているが、地域のにぎわいを創出し地域の活性化が図られたかどうかは何とも言えない。商品券の発行事業では、個店独自の創意工夫と町内の需要喚起に貢献した。

<b>8. 支援力向上の取組</b>	<b>総合評価 B</b>
--------------------	---------------

○事業内容

- 1) 支援機関連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換をする
- 2) 経営指導員等の資質向上等を図る
- 3) 事業評価と見直し

定量指標

支援内容	実施の有無	評価
大子町、よろず支援拠点との情報交換を年2回行う	有	C
地域内金融機関と年3回情報交換を行う	有	B
ブロック単位の研修会に参加する	有	B
国、全国連、県連主催の専門的経営支援研修に年1回以上参加する、	有	B
職場内OJTにより伴走型の支援能力を図る	有	C
データ化した情報や知識を月1回報告、勉強会を行う	無	D
正副会長会議において事業報告、評価・見直しをする	有	B
商工会ホームページで事業評価・見直し結果公表する	有	A

○この取組みに対する効果検証

- ・当会は小規模商工会のため、ブロック内の商工会との広域連携を図るなど相互の情報交換や支援体制を整え活用している。
- ・OJTによる職員のスキルアップについては、伴走型補助金を活用し指導現場にも同行し知識の習得に取り組んだ。
- ・各データの活用方法については不十分であり、今後とも定期的に事務所内で情報交換の場を設けデータ管理意識の高揚と活用スキルのアップに努める。
- ・事業評価は、正副会長議で実施し結果は、理事会で報告し、次年度の取り組み事項に繁栄させた。